

猛暑や大雨の反面、地方によっては水不足など天候に翻弄されている感じの夏ですが、大事なくお過ごしでしょうか？

穏やかな秋が待ち遠しいところですが11月の大懇親会では皆さんの元気なお顔を拝見したいと思います。



大懇親会のお知らせ



既に日程などはお知らせしていますが、今年度は「総会」を「大懇親会」と名称を改め“会員相互の親睦”をテーマに開催致します。今回は、会場を新たな場所に移し、お料理の内容なども皆さんから頂戴したご意見を参考に工夫を凝らして準備しています。今まで参加されたことがない皆さんも、ぜひ気軽なお気持ちでご参加下さい！

- 【日時】 11月16日(土)
開場/11:30
開宴/12:00(終宴予定/14:00)
- 【会場】 クルーズ・クルーズ新宿
- 【参加費】 お一人様 6,000円

追って9月中旬には出欠確認のハガキをお送りしますが、ぜひ早めにスケジュールをご調整の上、ご予約下さい。



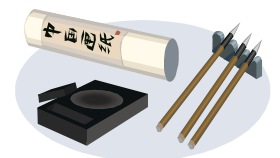
地下鉄 東京メトロ/丸の内線・副都心線・都営新宿線
「新宿三丁目駅」より徒歩1分(E4出口直結)
JR線 「新宿駅」東口より徒歩5分

～ 大懇親会での展示作品を募集します！ ～

以前にも書きましたが「財団で働いていた人たちは本当に芸達者！」専門分野はもちろんですが、現役時代から継続されている趣味ばかりでなく、卒業されてから新しい世界にチャレンジされている方々もたくさんいらっしゃると思います。そこで…大懇親会の当日、会場で趣味の作品などを展示していただける方を大募集！決してコンテストではありません！（笑）ので、皆さんがハマっている趣味の世界をぜひ拝見させて下さい。

因みに、これまでは事務局メンバーが把握している方に個別にお願いして油絵、絵付け皿、ステンドグラス、写真、手作りパンなどを展示していただき、大好評でした。今から急いで何かの教室に走っていただいてもOK…です。

- ♪ 応募作品の種類 写真、絵画、書道、絵手紙、手芸作品、陶芸、俳句など自作のものなら何でも結構です。また、当日、会場で生け花をご披露いただくのも歓迎です。
- ♪ 作品サイズ 写真はA4まで、絵画は3号まで、他は自由ですが、極端に巨大な物や展示に時間を要する物はお避け下さい。
- ♪ 応募申込締切 9月15日(作品の提出移動は11月初旬頃からの予定です)
- ♪ お問い合わせ・申込先 同窓会事務局(z.dousoukai@gmail.com)あてにご一報下さい。折り返し、展示担当より連絡を取らせていただきます。





東日本ヤマハOB会の同好会に参加して…

1. 同好会は新しい出会いの場（伊豆康夫さん）

東日本ヤマハOB会には、現在16の同好会がありどこも活発に活動しています。

私は今、4つの同好会に所属して、夫々の趣を存分に楽しんでいます。

とは申せ、初めは、同好会は現役時代の人間関係の延長線上にあるものと思っていましたので、あまり気が進みませんでした。

しかし、それは全くの思いすごしでした。

現役時は気付かなかった人柄に触れたりOBになって初めて知りあった人が意外に多いという事実も全て同好会活動を通じてわかったことです。

その意味では、同好会は新しい出会いの場でもあります。

各同好会に共通していることは、入・退会や活動頻度などは、あくまで参加者個々の判断に委ねられていて、余計な気遣いは無用ということです。

会の内容がよく分からない場合や敷居が高そうと感じた場合は、体験参加ができますので自らじっくり確認することができます。

同好会は、各々个性的で多様な世界です。先ずは、気軽に同好会の門を叩いてみて下さい。

そこには必ずや人生を彩る感性豊かな世界があなたを待っている筈です。



俳句同好会にお邪魔してみました

2. ヤマハシニアアンサンブルへのお誘い（赤木興人さん／イラストもご本人作）



7～8名で始まったアンサンブル同好会は今20名近くに成長（？）しました。最近（6月8日）催した発表会では、クラシックの小品からタンゴ（ラテン）、または今様歌謡曲と何でも演っています。

平均年齢72歳というオジサンたち（もちろん少し若い女性もいます）がお互いに励ましあって（？）頑張っています。

ともすると練習後、好きな連中は一杯に走ることも、親交を深める一助となっています。

月2回の練習では物足りないのですが、シルバーにはちょうどよいペースかなと思っています。

メンバーは一応ヤマハOBですので、どなたでもちょっと覗いて下さると嬉しいです。もちろん団員募集中です！

3. 絵を見るのが好きな方へ（事務局／石原勝年）

「絵を見るのは好き、でも描くのはどうも…」という方が結構多いのでは？

そんな方にうってつけの同好会、それが絵画鑑賞同好会です。

定例会は年2回。9月の「院展」、11月の「日展」を鑑賞します。

いずれの会も鑑賞希望者は、一旦会場入口に集合した後、個人で自由に展覧会を見ます。

気に入った絵があれば、それを記憶にとどめ、出口でその絵葉書があれば買います。

その後、全員集合し懇親会場へ。懇親会は飲みながらの雑談会ですが、その中に、自分が気に入った絵を発表するコーナーがあり、購入した絵葉書などを見せながら、気に入った理由などを3分程度発表します。

気に入る絵も人によって千差万別、コメントも好き勝手になかなか楽しいです。

最後に抽選会があり、当選者には当日のプログラムが進呈されます。

一度、試しに参加されてみてはいかがでしょうか。

私が代表世話人ですから、全面的にケアしますよ。





職員同窓会の同好会レポート

ゴルフ同好会／「第21回財団ヤマハOBゴルフ親睦会」レポート

財団ヤマハゴルフコンペが2013年7月26日箆坂ゴルフクラブにて開催されました。

当日は日頃の猛暑の影響もなく薄曇りの天候の中、高原ゴルフを楽しむ一日となりました。

今回は4組14名（内女性3名）のご参加を頂き、前回と同じく「ハンデキャップ戦」に加え「新々ペリア戦」も併用した競技となりました。

競技結果は、ハンデキャップ戦は、井上（旧姓：内田）桂子さんがGROSS：94、HDCP：35、NET：59で優勝されました。

また、新々ペリア戦では、窪野正男さんがGROSS：89.0、HDCP：16.0、NET：73.0で優勝されました。各入賞は次頁のとおりです。

HDCP 戦	プレイヤー	GROSS (OUT/IN)	HDCP	NET
優勝	井上桂子	94 (50/44)	35.0	59.0
準優勝	藤巻春美	99 (49/50)	40.0	59.0
3位	國頭永浩	91 (46/45)	26.0	65.0

新々ペリア戦	プレイヤー	GROSS (OUT/IN)	HDCP	NET
優勝	窪野正男	89 (47/42)	16.0	73.0
準優勝	今 憲行	101 (49/52)	25.6	75.4
3位	北條哲男	91 (44/47)	14.4	76.6

ニアピン賞は、2H：柴原一女さん、8H：藤巻春美さん、11H：烏野隆弘、15H：窪野正男さんでした。



次回は11月22日（金）裾野カンツリー倶楽部を予定。多数の方々のご参加をお待ちしております。

お問合せ先：烏野隆弘（ゴルフ同好会事務局）

unofamily@jcom.home.ne.jp または
090-3212-7302（携帯）までお気軽にどうぞ！

テニス同好会／「春のテニス合宿」レポート

5月7日～8日の2日間、昨年同様の河口湖「FIT RESORT CLUB」で春のテニス合宿が開催されました。

参加者総数13人中、財団からは上林健吾さんと私西岡の2人の参加となりました。

快晴の碧空に恵まれ、四方を萌えるような新緑に囲まれ眼前には世界遺産になったばかりの霊峰富士山が大きくそびえ立ち、どこを見渡しても最高のロケーション。試合はテニスコート2面を使用してスタート！

どの皆さんも満面笑顔で本当に楽しそう。

1日目夕食後の夜は、全員が1室に集まり、昔懐かしいヤマハの話で盛り上がりました。

私たち同窓会メンバーが「東日本ヤマハOB会」テニス同好会に合流して早4年になりますが、同じヤマハとはいえ、それぞれ異なった職種の人達が集まっての会話は何とも楽しいもの。

ヤマハの知らない世界をお互い共有できることは、合流ゆえの賜物です。想い出多き楽しい一夜となりました。（次頁に続きます）



2日間の試合結果は以下の通りでした。(上位5人/敬称略)

	プレイヤー	勝 敗	ポイント
1位	上林 健吾 ・ 夏原 麗子	6勝2敗	27ポイント
3位	田代 早苗 (初参加)	6勝2敗	26ポイント
4位	夏原 雄二郎 ・ 田仲 操	5勝3敗	23ポイント



病後の回復間もない上林さんが見事優勝！！
上林さんは「ここ2ヶ月半ほどテニスから離れていた」とのお話でしたが、体力をコントロールしながら無駄な動きを抑えてのフットワークはさすが見事なもの。
上林さん、2度目の優勝おめでとうございます！



今回は、10月3～4日に御殿場「時の栖 (すみか)」で
秋季合宿を開催する予定です。
ますます多くの方々のご参加を心からお待ちしています。

お問い合わせ先：西岡 晃
メール nishioka@d03.itscom.net
携帯電話 080-5860-0950

旗 会員トピックス

マイナス5度の演奏会！！?? (レポート/石井ふみ子)

海外教室で指導スタッフとして活躍された大和田 征さん。
ご卒業後も時々、海外部での制作業務で現役をヘルプしておられますが、実は何年も前からリコーダーの専門家として活動されています。
特にここ10年、ご友人のお誘いで毎年極寒の北海道然別に赴き、氷で作った「アイスホール」でアンサンブルの演奏会をされています。
愛好家の集まりで男性2名女性2名のグループ。
パロックに限らず、古典から現代、ポップ、Jポップ、AKB48もある多種多彩なレパートリーで、そのアレンジは全て大和田さんが担当。
「JOCの講師研修に立ち会って聞いていたことが大いに役立っている」そうです。
2012年12月には、地元府中市主催のイベントでの演奏会に参加され、350名近い聴衆がああ美しい音色に魅了されました。
現在は指導もされる一方、活動記録としてCDの制作を検討中とのこと。
左側の写真は昨年(2012)の北海道でのコンサートから。
然別湖の氷で作る大きなドーム型のホールで、暖房ができないため防寒着での演奏です。
聞く方も氷の椅子で震えながら！！??



近況報告（大室 有さん）



最近、何度か訪れている香港の寺にて

原発の20キロ圏内に位置するため、かつてのように開催できないのが現状です。
一日も早く元の場所に戻る日を願って止みません。

現在私は福島県いわき市に居を構えています。
六年ほど前に南相馬市小高区の浄國寺というお寺の住職に招かれて転居しました。

小高は江戸、明治、大正と絹の生産と織物で栄えた町ですが、現在ではかつての賑わいは全く無く、土蔵造りの町並みだけが当時の繁栄ぶりを物語るのみの小さな町です。

ただ、私がこちらに来て驚いたことがありました。

それは日頃から日常的に街中を馬が人を乗せて歩いているのです。

特に東京生まれの私にとっては、信じ難い光景だったのですが、理由はすぐにわかりました。

この町は東北三大祭の一つ“相馬野馬追い”の発祥の地だったのです。
毎年七月の最終土曜日、日曜日に開催される、時代絵巻さながらの勇猛果敢な合戦を彷彿とさせるお祭りなのです。

ぜひ、みなさんにお見せしたいと思います。

しかし、残念ながらご承知のとおり、この地が事故を起こした福島第一



皆さんからのお便り、情報、ご要望をお待ちしています！

おかげさまで、この「同窓会通信」も第21号となり、東日本ヤマハOB会のホームページで閲覧できるようになったほか、様々な情報をお届けすることができるようになってきました。

しかし、全国に広がる同窓生の皆さんとは、なかなか直接お会いすることも叶わず、お便りや近況のご報告、企画アイデアなどを事務局一同、首を長〜くしてお待ちしています。

まずはお気軽に、下記のメールアドレスにメッセージをお寄せ下さい。

同窓会通信のご感想、同窓会活動に関するご要望なども大歓迎です！

同窓会事務局メールアドレス z.dousoukai@gmail.com



この次は、9月中旬頃に
大懇親会の出欠確認及び
一言メッセージをお寄せ
いただくハガキをお届け
します。

お忘れなく！